

もっと広がる  
クスリの世界

片頭痛

片頭痛は、頭の片側または両側が痛む頭痛の一種で、誘因や頻度は人によってさまざまです。吐き気や嘔吐が生じたり、光や音、においに敏感になったりする方もいます。動くことで痛みが悪化するため、発作時は動かないで安静にする、もしくは動けなくなる方もいます。

病態に合わせ選択肢

片頭痛のある方の多くが、市販の鎮痛薬を服用して頭痛に対処していると思います。鎮痛薬を頻繁に使い続けると薬が効かなくなり、薬物乱用頭痛が起き、頭痛が慢性化してしまうこともあります。そうなる前に、適切な治療を受ける必要があります。仕事や家事など生活に支障が出たり、毎月のように寝込んだりするなど、ひどい症状の方はぜひ、医療機関の受診を検討してみてください。

医療機関では、片頭痛の病態に合った治療薬が処方されます。発作が出ている

時に使用する薬として、血管を収縮させて痛みを和らげるトリプタン製剤(内服薬、点鼻薬、自己注射剤など)を中心に、吐き気止めや一般鎮痛薬を組み合わせ治療します。

片頭痛の頻度や重症度が高くて生活に支障が出るといった方には、片頭痛発症抑制薬(予防薬)も併用されます。予防薬は毎日服用します。それでも効果が不十分な場合や、副作用などで服用できない場合、月1回の注射薬も使用できるようになり、治療の選択肢がさらに広がり

ました。

「頭が痛いのが当たり前」「頭痛で寝込むのは当たり前」と感じている人もいるかもしれませんが。痛みもさることながら、「いつ痛みが来るか分からない不安」を抱えている方も多いと思います。最近の片頭痛治療は進化しています。大切な「今」の時間と生活をより快適に過ごすために、適切な治療を受けて、片頭痛に煩わされない生活を手に入れましょう。

(牧野 和也・県病院薬剤師会理事)  
<毎月第4火曜日に掲載>